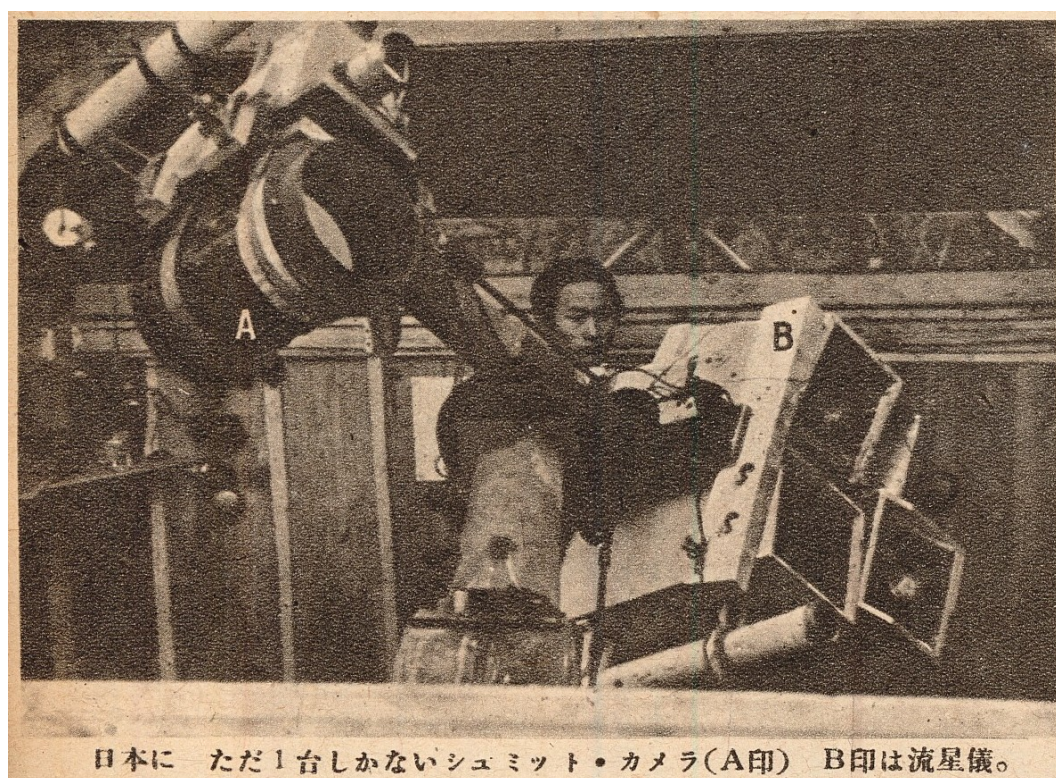


国立天文台・天文情報センター・アーカイブ室 中桐正夫

### \* 日本最古のシュミット望遠鏡の記事を科学朝日に発見

アーカイブ室新聞 203号(2009年6月29日発行)に「国産初期のシュミット望遠鏡発見(第1号ではないらしい)」という記事を書いた。そして2009年12月11~12日に開催された「国立天文台の歴史的アーカイブスに関するシンポジウム」で展示品として、その「国産初期のシュミット望遠鏡」を展示した。このシュミット望遠鏡は現存する日本最古のシュミット望遠鏡である。この望遠鏡については天文月報1970年9月号に初期の国産シュミットカメラとして紹介されている。

このアーカイブスに関するシンポジウムの参加者であった「渋谷星の会」の小川誠治氏から、展示されている日本最古のシュミットカメラが望遠鏡に同架されている写真が掲載された昭和24年5月1日発行の科学朝日を見せられた。まさしく展示してあった国産最古のシュミット望遠鏡が同架(写真1)されていた。



日本に ただ1台しかないシュミット・カメラ(A印) B印は流星儀。

写真1 科学朝日昭和24年5月1日号に掲載された写真

この写真の記事は富田弘一郎氏によって書かれたものである。この写真では流星写真儀と一緒に赤道儀に載せられている。流星写真儀も広い視野が必要であり、シュミット望遠鏡も視野が広くF比が小さく明るいという特徴があることから、当然とも思える。この記事にはシュミット望遠鏡のアップ写真(写真2)、光学系を含む構造図(写真3)も載せられ

ている。

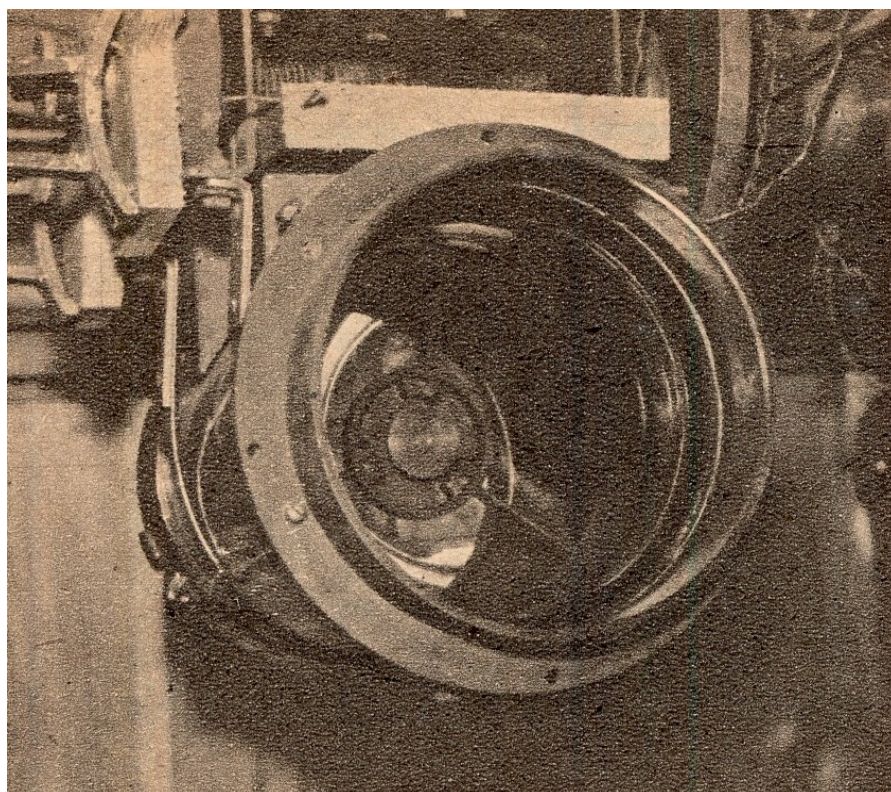


写真2 シュミット望遠鏡の拡大写真

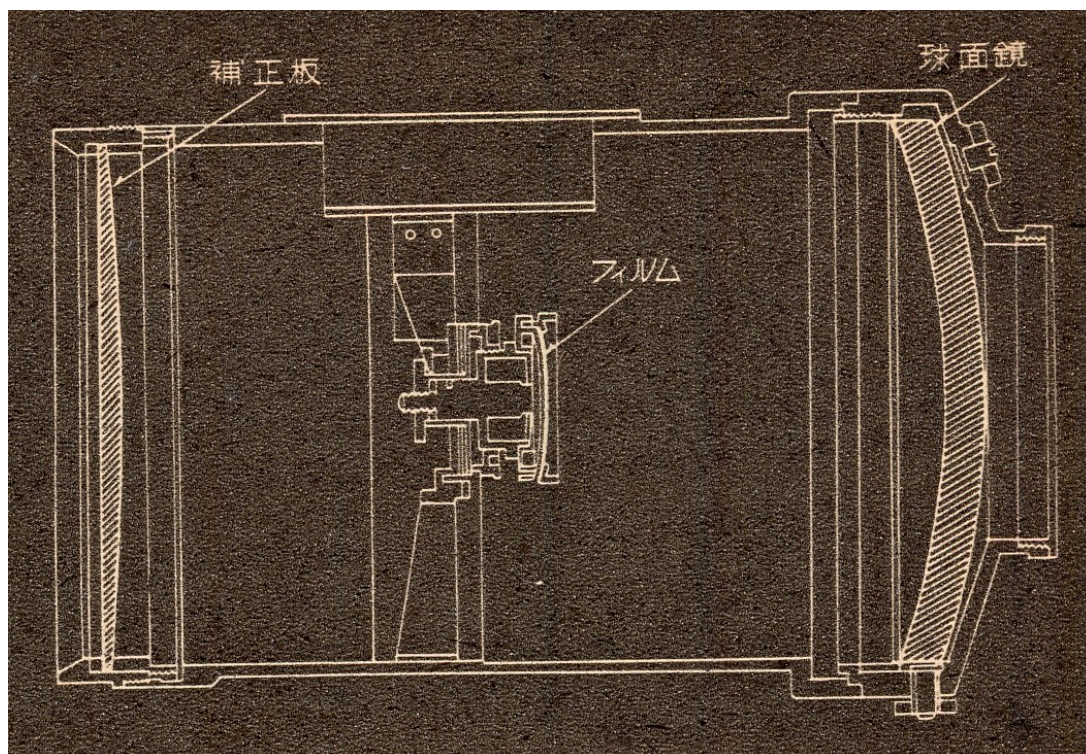


写真3 シュミット望遠鏡の構造図

この国産最古のシュミット望遠鏡については天文月報 1970 年 9 月号記事、アーカイブ室新聞 203 号を参照いただきたい。写真 4、5 が昭和 24 年 5 月 1 日発行の科学朝日の記事である。この情報を寄せてくださった小川誠治氏に感謝する。



写真 4 国産最古のシュミット望遠鏡記事-1

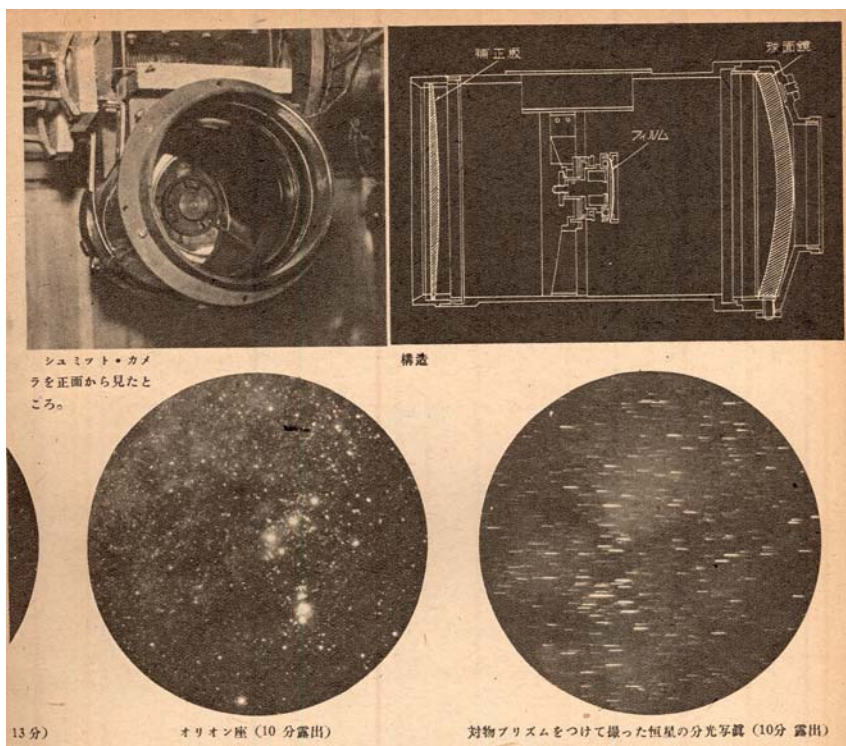


写真 5 国産最古のシュミット望遠鏡記事-2